

様式第3号(第7条関係)

会 議 録

- 1 附属機関の会議の名称 令和6年度第2回水戸市協働推進委員会
- 2 開催日時 令和7年2月26日(水) 午後1時30分から午後3時10分まで
- 3 開催場所 水戸市役所4階 中会議室1～3
- 4 出席した者の氏名
 - (1) 委員 金本 節子, 小森田 龍生, 谷萩 美智子, 大竹 隆志
鹿倉 よし江, 加治 光教, 小島 幸子, 菊池 薫
 - (2) 執行機関 【市民生活課】参事兼課長 白石 嘉亮
副参事兼課長補佐 入野 高司
協働係長 増子 博理, 主事 松川 のぞみ
【高齢福祉課】技佐 海老沢 明子
【都市計画課】参事兼課長 須藤 文彦, 景觀室長 権瓶 厚
【生活安全課】空家空地係長 鈴木 隆亮
【文化交流課】課長補佐 黒須 雅継, 係長 成澤 知美
【動物愛護センター】所長 松田 智行, 技佐兼係長 川田 結実子
【商工課】市街地活性係長 倉川 健一, 主事 伊澤 麻衣
【ごみ減量課】ごみ減量係長 本澤 佑司, 主事 新谷 絢香
 - (3) その他 特定非営利活動法人ちいきの学校
さととし
特定非営利活動法人ふるさと空き家相談・サポート
一般社団法人水戸葵社中
次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ
いばらきのシッポの幸せの会
23RDまちづくり株式会社
茨城高校国際教養コース・これミラ班
- 5 議題及び公開・非公開の別 水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」に係る
令和7年度提案事業の公開プレゼンテーション(公開)
全体審議(非公開)

6 非公開の理由 (全体審議)

- ① 公にすることにより，当該団体の権利，競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるため。
- ② 公にすることにより，率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれ又は不当に市民の間に混乱を生じさせるおそれがあるため。

7 傍聴人の数(公開した場合に限る。) 5人

8 会議資料の名称 令和7年度提案事業の概要

9 発言の内容

【公開プレゼンテーション】

委員長	ただいまから，令和7年度水戸市協働事業提案制度「わくわくプロジェクト」のプレゼンテーションを始める。提案のあった7事業について，提案団体と市担当課から，事業の概要，協働による効果，役割などについて発表していただく。
提案団体 高齢福祉課	〔発表：ドライバーサポートフィットネス「ドラサポ」〕
委員	認知機能や運動機能がどれくらい上がったのかという受講者のデータを公開していないということだが，受講者に対しては，データを基に指導を行っているのか。
提案団体	数字を可視化した資料を配布し，受講者に合わせたアドバイスを行っている。
委員	収支計画書の通信運搬費について，ポスティング約3万世帯とは前期，中期，後期の合計であるか。また，3万世帯はどのような範囲で算出されたのか。作成する小冊子については，受講者の45名分であるか，もしくは，別途配布する分が含まれているのかを伺いたい。
提案団体	ポスティングは会場によって部数を調整している。例えば，会場が水戸市役所の場合は，参加率が高く，ポスティングの費用は抑えている。一方で，コミュニティセンターは周知の機会が少なく，参加率が低いため，ポスティングを強化している。小冊子については，受講者に向けて制作を考えているが，視察に来る他市町村の行政機関等にも配布できるよう，予備の印刷を検討している。
提案団体 都市計画課	〔発表：しもいち実証実験教室〕

委員	1日カフェの申込期限は何日前までか。
提案団体	スクール（しもいち実証実験教室）として、下市エリアについて学び、現場でどんな表現をしたら良いかみんなで考えながら事業を伴走するプログラムであるため、開催の半年前を想定している。
委員	代表と副代表のほかに会計を置かないのか。
提案団体	現在運営しているゲストハウスと同様に、会計を兼務で行うが、サポートしてくださるメンバーを歓迎したい。
委員	団体の設立が間もないため、内容について半信半疑であったが、行政のアイディアを取り入れたのか。また、まちづくりや景観を見直す事業内容として、盛り沢山に感じる。スケジュールについて、やってみたい人を募集することから始まるが、空き家の活用には納得である。一方で、下市エリアは古い商店街の特徴的なまちであり、行政は活性化を期待していると思うが、事業の達成について、自分たちのまちづくりとしての将来的な構想と、どのように結び付けていくのか伺いたい。
提案団体	内容については、都市計画課と協議し進めている。団体の発足は間もないが、団体メンバーは下市エリアで5年間ゲストハウスを運営し、地域と交流を重ねている実績がある。今後の展開を見据えて今回の事業に結びついた。下市地区400年の節目に、水戸市と協働で空き家の活用を行い、将来的には、点ではなく、関わりを増やし、面になるような展開を目指している。
委員	地元の古い商店街があるため、地元住民の意見を取り入れながら進行した方が間違いを防ぐことができると思う。
提案団体 生活安全課	〔発表：空き家に関するワンストップ総合相談窓口事業〕
委員	次年度が3年目の事業となるが、補助金の用途について、以前、広報みとの割合が高いことを検討事項としていた。相談は市の紹介が多いということだが、広報みとに掲載するメリットはあるのか。
提案団体	広報みとの掲載については、前年度の5回から6回に変更した。効果がなかった茨城新聞の有料広告を取りやめ、より多くの人々に周知するために、Webや公式LINE等のオンラインを活用する。広報みとの効果としては、実際に広報みとから相談に来た人の人数に関する資料はないが、市の窓口からの紹介が非常に多かった。今年度はセミナーの日程を5回掲載したことによって、前もって計画を立てて来た方もいたので、ある程度の効果を実感している。
委員	広報みとは町内会に入っている家に配布されるが、町内会の加入率が低下している現状があり、町内会に入っていないが、空き家の情報を知りたい市民への周知方法について考慮の余地がある。

提案団体 文化交流課	〔発表：若い世代で戦争の紙芝居を伝承しよう～デジタル化による新たな紙芝居を創る～〕
委員	紙芝居の作成について、学生の募集対象や、紙芝居の動画の長さ、数について伺いたい。また、デジタル化について、参加した方が各々作るのか、もしくは1本の動画をいくつか複写するのか伺いたい。
提案団体	大学生が制作した紙芝居は3部作あり、27分、17分、40分の作品がある。また、団体で作成した40分の紙芝居や長崎の体験等、数は多くある。ほかにも、紙芝居になっていない特攻隊の遺書や写真もあるが、まずは水戸市在住の茂木さんの物語に着手し、水戸空襲の物語も制作していきたい。学校からは広報やInstagram、ホームページからも問い合わせをいただいている。
委員	DVDの提供について、今の子どもたちは戦争を知らないと思うが、DVDを見たいと手を挙げるだろうか。
提案団体	分からないが、手を挙げていただきたいと思っている。団体は平和の公演に学校を訪問しており、上演で訪問した際にDVDを設置することも可能である。
委員	既にDVDの設置は行っているのか。
提案団体	制作はこれからのため、まだ設置は行っていない。紙芝居は1部のみだが、デジタル化することによって、各学校での視聴が可能となり、将来的には図書館に電子図書としての所蔵が考えられる。
提案団体 動物愛護センター	〔発表：地域と動物の共生プロジェクト〕
委員	茨城県では、犬猫殺処分ゼロを目指す条例を出している。昨年、「吾輩は保護犬である」という映画を鑑賞したが、実際に猫を捕獲すると、動物愛護センターでも引き取ってもらえず、地域で活動していた人に対応してもらった経験があり、捕獲した際にどのように対応したら良いのかを掲載していただけると有難い。また、さくら耳の啓発をしてほしい。
提案団体	団体のメンバーは、実際に動物愛護センターから引き取り譲渡する活動や、手術を行う活動をしている。啓発活動は実際の活動の上に行うものであり、捕獲した方が相談先に困らないようにパンフレットに掲載し、回覧板に入れることで啓発活動を行っていきたい。
提案団体 商工課	〔発表：次世代継承店舗と学生がつくるまちづくり～起業ゲームから実践へ～〕
委員	ロマンチックゾーン周辺は整備が進み、街中は歩きやすくなっている。予算について、マップに「1,500×100部」とあるが、どのようなマップであるか。また、数が少なく感じるが、どのように考えているか伺いたい。

提案団体	100部は誤りであり、チラシは1,000部程度多めに印刷する予定である。印刷製本費については、デザイン費込みで計上している。
委員	保和苑でのあじさい祭りはバスで来る観光客で賑わうが、コラボレーションは考えているのか。
提案団体	今までにも水戸商業高校と地域の事業者がコラボレーションで商品を毎年出しており、3月にはスタンプラリーを実施するので、参加する店舗にも呼びかけていきたい。
委員	会場費について、5,000円が10回分とあるが、提案団体の関連施設ではなく、別会場で実施するのか。
提案団体	街歩きも実施するが、ワークショップは店舗で行うことで、学生に雰囲気を感じてもらいたいと考え、会場費を計上している。
委員	空き家の持ち主は分かっているのか。
提案団体	商店会に話しており、商店会は学生に来てほしいと今回のプロジェクトを歓迎されている。
提案団体 ごみ減量課	〔発表：参考書バンク〕
委員	学生ならではの視点で頑張っていただきたいが、参考書の回収について、ボックスは市役所と図書館の2カ所で足りるのか。図書館は本を購入する必要がない場所だが、図書館の本と区別がつくのか。また、学生ならではの視点にも関わらず、学校には設置しないのか伺いたい。
提案団体	市役所と図書館だけでなく、水戸市内の中学校や高校にも呼びかけ、設置と回収を行いたい。区別については、図書館は本の貸出しをしているが、残念ながら参考書の貸出しはない。本や教育、学びに関心がある人が利用する図書館は参考書を集めやすいと考えており、職員の方々と協力し、参考書でない本を回収しないように努めたい。
委員	実施スケジュールのアンケートについて、対象は学校なのか、もしくは参考書を欲しいと思っている人なのか伺いたい。
提案団体	アンケートは2種類作成し、参考書が必要な人と譲ってくれる人の両方に実施する。目的は、参考書が必要な人の数や、ほしい参考書の種類を調査すると同時に、不要となり譲ってもらえる参考書の量も調べたい。結果から回収目標量を算出し、参考書が余り過ぎないようにしたい。具体的には、水戸市内の小学校、中学校、高校や保護者にもLINEを活用して実施したい。
委員	本当に必要な人は声を出せないと聞いているので、知恵を絞って頑張っていただきたい。